2020 年度版

動物実験に関する現況調査票

国立大学法人東京医科歯科大学

2021 年 12 月

2020 年度版

Ⅰ．動物実験に関する組織

東京医科歯科大学動物実験委員会

	所属	職名	専門分野	カテゴリー*
委員長	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	分子発生学	①
副委員長	大学院保健衛生学研究科	教授	生体機能システム学	①
委員	センター	センター長	分子病態	①
委員	センター	副センター長	疾患モデル動物解析学	②
委員	センター	講師	疾患モデル動物解析学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	システム発生・再生医学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	細胞生理学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	法歯学	①
委員	大学院医歯学総合研究科（生命理工学系）	教授	物質医工学	①
委員	教養部	教授	生物学	①
委員	生体材料工学研究所	教授	生体材料機能医学	①
委員	難治疾患研究所	教授	生体情報薬理	①
委員	難治疾患研究所	教授	分子神経科学	①
委員	（外部委員）	教授	経済学	③
委員	（外部委員）	教授	実験動物学	①

① 動物実験等に関して優れた識見を有する者

② 実験動物に関して優れた識見を有する者

③ その他の学識経験を有する者

*2021 年 3 月末日の委員

2020 年度版

実験動物センター運営委員会

	所属	職名	専門分野
委員長	センター	センター長	分子病態
副委員長	センター	副センター長	疾患モデル動物解析学
委員	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	分子情報伝達学
委員	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	システム発生・再生医学
委員	センター	講師	疾患モデル動物解析学
委員	大学院医歯学総合研究科（医学系）	教授	細胞生理学
委員	大学院医歯学総合研究科（歯学系）	教授	分子発生学
委員	難治疾患研究所	教授	免疫疾患
委員	大学院保健衛生学研究科	教授	生体機能システム学
委員	教養部	教授	生物学
委員	生体材料工学研究所	教授	生体材料機能医学
委員	難治疾患研究所	教授	病態細胞生物学

*2021 年 3 月末日の委員

2020 年度版

Ⅱ．機関における動物実験の概要

国立大学法人東京医科歯科大学(以下、本学)にて、2020 年度に研究・教育の目的で実験に供された動物の総数及び、本学の主要な施設を開示致します。本学の研究・教育活動が数多くの実験動物の犠牲の上に成し遂げられていることを共通認識として、動物実験規則や 3R の原則（代替法の利用、使用数の削減、および苦痛の軽減）に基づいた、適正な動物の飼養、保管、実験の実施に努めて参ります。

1．動物実験を行う主たる研究分野

- ☑ 医歯薬学分野
- ☐ 畜産・獣医学分野
- ☑ 生物科学分野
- ☑ 理工学分野
- ☐ その他（　　）

2．年度ごとに使用した実験動物の種類と概数（2020 年度）

動物種	マウス	ラット	ウサギ	マイクロミニピッグ	イヌ	ネコ	サル	ウシ	ブタ
使用数	72,086	1,421	19	4	8	0		0	36
飼養数	38,197	387	0	4	8	18	11	0	0

3．年度ごとの承認された動物実験計画数（変更申請を含まない）

動物実験計画数(2020 年度)	188 件

4．年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数（再受講者を含まない）

教育訓練受講者数(2020 年度)	1,405 人

5．主要飼養保管施設

施設の名称	動物種	最大飼養頭数（概数）
東京医科歯科大学　実験動物センター (中央飼養保管施設､第 1 飼養保管施設、 第 2 飼養保管施設)	マウス	41,495
	ラット	964
	ウサギ	69
	マイクロミニピッグ	18
	イヌ	26
	サル	12
	マーモセット	8
難治疾患研究所 未来ゲノム研究開発支援室	マウス	5,190

6. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設の総数：31 箇所

7. 施設の所在地と名称

所在地	施設の名称
〒113-8510 東京都文京区湯島 1 丁目 5-45	国立大学法人東京医科歯科大学
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2 丁目 3-10	国立大学法人 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

8. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所（URL）：http://www.tmd.ac.jp/(大学 HP) http://www.tmd-cea.jp/(実験動物センター・動物実験委員会 HP)

9. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

☑ 国立大学法人動物実験施設協議会会員
□ 公私立大学実験動物施設協議会会員（会員番号：　　）
□ その他(上記の会員ではない)

10. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL: http://www.m-kenshou.org/

☑ 行った

11. 特記事項

（動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情）

本学の実験動物施設は、平成 22 年 4 月より全学中央飼養施設である実験動物センターとして組織改編され、中央飼養保管施設、第 1 飼養保管施設、第 2 飼養保管施設の 3 施設を有する。施設ごとに管理レベルを設定し、マウスなどの小型動物、並びに中型・大型動物を機能的に飼育･実験できるように 3 施設を運用している。 また、動物実験に対する適切な体制を整える為に「動物実験の相互検証プログラム」を 2012 年・2019 年に受審している。